

第 67 回 発電用設備規格委員会 火力専門委員会 構造分科会 議事録

1. 日 時:2010 年 12 月 21 日(火)13 時 30 分～16 時 00 分
2. 場 所:日本機械学会 第 2 会議室
3. 出席者:浜田(東電)、西野(配管技術研究協会)、西田(三菱重工)、堀(パナソニック日立)、一柳(中電)、
齋藤(IHI)、小高(富士電機システムズ)、堤田(日立)
- 代理者:なし
- 欠席者:位田(カワサキプラントシステムズ)、島田(東芝)
- オブザーバ:飯田(東電)、北村(関電)
- 事務局:稲垣(記)

4. 配布資料

- 67-1 . 第 66 回構造分科会議事録(案)
 - 67-2 . 構造分科会委員名簿
 - 67-3 . 第 54 回火力専門委員会議事録(案)
 - 67-4 . 第 55 回規格委員会議事次第
 - 67-5 . 材料専門委員会からの回答(案)
 - 67-6 . 書面投票案内(5 件)、JESC 審査用資料 省令適合性評価書 関連箇所抜粋
 - 67-7 . 省令適合性評価書 添付 3
 - 67-8 . 規格原稿案/レビュー票 第Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ章(PG31-39, UG24-33, 103-104, APPENDIX 2)
 - 67-9 . レビュー票 第Ⅲ章(PG58-60)
 - 67-10. 規格原稿案/レビュー票 修正関連箇所 第Ⅴ章(136.4)
 - 67-11-1. 省令適合性評価書 添付 3(パナソニック日立関連)
 - 67-11-2. クロスチェック対応状況(パナソニック日立関連)
 - 67-12. 書面投票意見案(審議用)
- 参考1. 発電用火力設備規格 基本規定・詳細規定(201X 年版)の委員専用 HP 原稿アップ状況
- 参考2. 高クロム鋼クリープ関連項目の規格規定反映計画(案)

5. 議題

- (1) 前回議事録確認 [資料 67-1]
前回議事録(案)について確認を行なった結果、意見等は特になく、議事録案は承認された。
- (2) 分科会委員の承認 [資料 67-2]
北村氏(関電)の新任推薦の意向を受領していることが報告された。出席委員全員の賛成により、次回火力専門委員会に新任候補として推薦することが承認された。また、時吉委員の退任が報告された。
- (3) 報告事項 [資料 67-3,4]
 - (3-1) 火力専門委員会・規格委員会報告
第 54 回火力専門委員会、第 55 回規格委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報

告された。

(3-2) その他報告

a. 材料専門委員会からの回答

[資料 67-5]

高クロム鋼クリープ関連項目の検討結果について、回答書が提供された。溶接継手強度低減係数、母材許容応力、寿命評価式の三項目について対応されることが紹介された。

b. 書面投票案内(5 件)・JESC 審議資料状況

[資料 67-6]

書面投票開始状況、JESC 審議資料準備状況について報告された。書面投票は 5 件とも同じ期間で実施している事と、書面投票対象範囲について説明があった。

(4) 審議事項

(4-1) 省令適合性評価書 添付 3 に基づく各委員のクロスチェック対応

[資料 67-7]

クロスチェック対応の結果、必要な修正についての対応フローが説明された。各委員からの結果反映は、以下の④のタイミングとなる。ただし事前準備として、今回の分科会で判明した分は事務局が分科会場で原稿を修正し、各委員に周知する事とした。各委員は、手持ち原稿があれば差替え、レビュー票を修正して事務局に提出しておくこととなった。

- ① 各委員から浜田主査/事務局に申し出て対応案を審議（原則、分科会での審議結果によるが、今回の分科会以降でも書面投票期間中に適宜相談するよう依頼あり）
- ② 浜田主査が資料 67-12 の記載内容に準じて書面投票意見を集約・提出
- ③ 火力専門委員会の書面投票の可決となった場合、以降のステップに移行
- ④ 意見対応結果について、編集上の修正に当たるかの火力専門委員長判断（併せて、メールによる異議申し立てがあった場合の受付）
- ⑤ 規格委員会投票へ移行

(4-2) クロスチェック結果に基づく審議

201X 年版のクロスチェック結果を元に審議された。特記事項は以下の通り。

a. 規格原稿案/レビュー票 第Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ章(PG31-39, UG24-33, 103-104, APPENDIX 2) (齋藤委員)

[資料 67-8]

原稿の修正が必要な項目は以下の2件。その他、クロスチェックによるレビュー票の修正内容について説明された。

- ・ 104.3.1(D. 2) Dob, Dohが抜けていたため追加する。
- ・ Appendix-2 Wm2 の説明で、管板「を」が脱字していたため追加する。

b. レビュー票 第Ⅲ章(PG58-60) (小高委員)

[資料 67-9]

飯田オブザーバーのクロスチェック結果に対する原稿修正対応案が示された。レビュー票ベースでの審議を行い、内容的に了解が得られたため、飯田オブザーバーが書面投票の意見提出案をまとめることとなった。

また小高委員の原稿/レビュー票修正案のデータは、事務局へ提出済みであることが報告され

た。

c. 規格原稿案/レビュー票 修正関連箇所 第Ⅴ章(136.4) (北村オブザーバー) [資料 67-10]

原稿の修正が必要な項目は以下の2件。

- ・ 溶接分科会との用語の統一「工学的設計」→「検査計画書」
- ・ 表 136.4 溶接分科会との用語の統一「容積検査」→「体積検査」

d. 省令適合性評価書 添付 3, クロスチェック対応状況(パブ'日立関連) (堀委員)[資料 67-11-1,2]

修正原稿の事務局への提出が火力専門委員会審議資料の印刷開始寸前となったため、書面投票対象である HP 上への原稿のアップロードを優先した結果、一部において添付 3 の資料が旧版であることが報告された。正は HP の原稿であるため技術的な問題はないが、相違している分については混乱防止のため、書面投票終了後に他の原稿修正と同じタイミングで修正することとなった。

また、原稿の修正が必要な項目は、以下の1件が審議され反映することとなった。

- ・項目 3-12 「追加の製造要求事項については…」→削除する

e. 書面投票意見案(審議用) (浜田主査)

[資料 67-12]

原稿の修正が必要な項目 15 件(前述の各委員様からの報告も含む)の審議があり、反映することとなった。詳細内容は資料参照。

f. その他確認事項(飯田オブザーバー)

UG-137(c)～(f)は取り入れておらず、また ASME2008Addenda にて追加となった UG140 は取り入れないこととしたが、変更点一覧資料では修正・取入れとなっている。この変更点一覧資料の該当部分は、事務局が修正して担当委員に周知する事とした。

(4-3) その他確認事項

規定反映計画(案)の最新状況について報告され、規格制定・改訂のスケジュールの見通しが示された。各委員の作業予定項目は以下の通り。

- ① H23.1/11 前まで: クロスチェック結果に基づき、今回の分科会審議に間に合わず、原稿修正必要な項目が追加となった場合、浜田主査/事務局に速やかに連絡し対応を協議する。
- ② 書面投票期間中: 書面投票意見対応があれば、修正案についてその都度相談。基本的に事務局経由で情報が周知される。
- ③ H23.3 月中旬～分科会開催(4/22)前まで: 規格委員会での可決を受け、規格原稿のクリア版の作成。作成のタイミングは、書面投票の結果周知とともに事務局から依頼予定。

4. 次回開催

日 時:2011 年 4 月 22 日(金)13 時 30 分～

場 所:日本機械学会 第 2 会議室

以 上